

2022年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

ハッピーテラス幸教室

2022年12月実施 回答率:100%

回答者:常勤職員6名

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない 該当なし	取り組み状況・改善目標
体制環境 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6人	0人	0人	
	2	職員配置数は適切であるか	6人	0人	0人	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2人	2人	2人	室内は洗面所、トイレまで全てフラットです。トイレは支援者介助が可能な広さがあります。玄関にはバギーや車いすの昇降の許容範囲の13cmほどの段差があり、必要時は適宜バリアフリー化を検討いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6人	0人	0人	
	5	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6人	0人	0人	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6人	0人	0人	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0人	2人	4人	現在外部評価は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6人	0人	0人	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6人	0人	0人	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3人	0人	3人	ハッピーテラス本部で推奨のアセスメントツールを活用し、子どもの発達の状態や適応行動についてまんべんなく保護者に確認しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6人	0人	0人	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6人	0人	0人	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5人	1人	0人	休校日の午前中は「子ども会議」があり、子どもが主体で話しあったり、グループで遊んだりする時間を設定しています。平日は利用状況により、きめ細やかに課題内容を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6人	0人	0人	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6人	0人	0人	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6人	0人	0人	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6人	0人	0人	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6人	0人	0人	
保護者関係 連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6人	0人	0人	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4人	0人	2人	子どもの状況を児童指導員と共有し、必要時は児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6人	0人	0人	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1人	0人	5人	現在、該当はありませんが、必要時は主治医と連絡体制を整えて支援いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況・改善目標
関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0人	0人	6人	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2人	0人	4人	昨年度と今年度で3名の高校卒業利用者がおり、各進路としては、特例子会社への就職、就労移行B型への就労、専門学校進学であり、情報共有の希望はありませんでした。必要時は支援内容の情報を提供できるよう準備いたします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5人	1人	0人	川崎市南部療育センターの電話によるモニタリングへの協力をしています。また、相談支援事業所の介在で家庭の支援を必要とする利用者様のために、関係機関の支援につなげていただきました。他の事例では、子ども家庭支援センターとも情報共有しました。適宜、研修にも職員が参加しました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2人	3人	1人	休校日に公園などで地域の子供たちと一緒に遊ぶ時がありました。今年度は、こども文化センターも一度活用しました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4人	1人	1人	自立支援協議会は現在活動していないため、「豊かな地域療育を考える連絡会」のオンライン定例会議に毎月参加して情報共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6人	0人	0人	
保護者等 への説明 責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3人	2人	1人	ペアレントトレーニングは行っていません。個別でご相談を受けたり、情報共有やアドバイスをしています。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6人	0人	0人	
	31	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6人	0人	0人	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0人	5人	1人	当教室での保護者会等の開催は検討しておりませんが、今年度は自社の他教室の研修会(性教育関連)などのご案内をしました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6人	0人	0人	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6人	0人	0人	
	35	個人情報に十分注意しているか	6人	0人	0人	
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6人	0人	0人		
非常時 の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1人	4人	1人	現在は感染予防のため、必要最低限度の入退室にとどめていますが、年に一度、近隣の消防署の協力を得て防災訓練の一環としての消防署見学や防災体験をさせていただいています。
	38	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5人	0人	1人	各種マニュアルについては契約時に周知し、常時手に取って閲覧できるよう玄関先に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6人	0人	0人	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6人	0人	0人	会社で組織的に「虐待防止委員会」を設置したり、「虐待防止」のポスターを掲示しています。また、年間の研修計画に基づいて必要な研修を行い、「虐待防止チェックリスト」に基づき支援の在り方についても職員間で確認しあいました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6人	0人	0人	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0人	0人	6人	現在該当者はいません。契約時にアレルギーの有無を必ず確認し、必要時は医師の指示書に基づく対応をいたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6人	0人	0人	